

全ト協「運輸ヘルスケアナビシステム」

トラック運転者の健康起因事故防止を目指し、全日本トラック協会がNPO法人ヘルスケアネットワーク(OCHIS)に委託して実証実験を行っていた「運輸ヘルスケアナビシステム」を今春から本格稼働させる。

健康起因事故防止には運転者の健康状態の把握が重要で、同ナビシステムは、定期健康診断実施後のフォローをサポートするもの。ハイリスク者の見える化を図り、システムに基づいた予防対策の推進をサポートする。

実証実験では昨年、30社2179人を対象にした健診データをもとに肥満、高血圧、脂質異常、高血糖などから脳・心臓疾患を起こしやすいハイ

今春から本格稼働

健康起因事故防止へ

リスク者を見える化し、CDでデータを対象事業者に提供。総合的な助言や指導を行い、安全・健康対策への活用を提言してきた。

同ナビシステムの本格稼働に当たり、5月に全国5カ所でセミナーを開催、同ナビシステムの内容や利用方法などを詳しく説明する。会場は5月

5月に全国でセミナー

10日は福岡県トラック総合会館、同16日東京都トラック総合会館、同22日大阪府トラック総合会館、同25日愛知県トラック総合会館、6月7日宮城県トラック総合会館。それぞれ100人、無料。午後2時から。

申し込み、問い合わせはOCHIS(☎06・6965・3666)まで。